

平成26年度 木と暮らしのふれあい展

10月4日（土）・5日（日）の両日、「第34回木と暮らしのふれあい展」（主催東京都・一般社団法人東京都木材団体联合会）が木場公園で開催され、東京事務所が出展し国有林のPRに努めました。

この催しは「森を育てたい。だから木を使おう。」をメインテーマに、都民に木とふれあえる機会を提供し、暮らしの中での木材利用を推進することを目的としています。

当日は、東京都の各木材団体等が一堂に会し、木工教室等の木とふれあう体験や木製品の展示販売、木造住宅相談、特産物の販売、アトラクション等が行われました。

1日目は、開会と同時に来場者が押し寄せ、大変な賑わいを見せましたが、2日目はあいにく台風18号の影響で大雨の中での開催となりました。

東京事務所では、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックにちなんで、木の輪切りで金メダルならぬ木メダルを作る森林クラフト体験を行うとともに、世界自然遺産のワークブックを配布してPRを行いました。

関東森林管理局東京事務所



開会式(牧元林政部長祝辞)



関東森林管理局東京事務所テント



森林クラフト体験



木メダル